A-8　積雪期　五竜岳(2814m)

【山行日】2022 年 4 月 16 日～17 日
【CL】3028 【参加者】3463　3734
【コース】1 日目：白馬五竜ﾃﾚｷｬﾋﾞﾝ++アルプス平++リフト終着点…地蔵ノ頭 9:00…一ノ背髪…ニノ背髪…10:30 小遠見山 2007m…11:00 中遠見山 2037m…12:00 大遠見山 2106m…14:00 西遠見山 2268m（幕営地）　2 日目：幕営地 5:00…6:50 白岳…7：00 五竜山荘…G0…G2…9:00 五竜岳 2814m…五竜山荘 10:30…白岳…12:00 西遠見山（テント撤収）12：40…大遠見山…中遠見山…小遠見山…15:00 リフト乗り場++テレキャビン++山麓駅 15:30

2021 年の雪辱を晴らしに再チャレンジで五竜岳積雪期登山に行ってきました。昨年は暴風の様な風に阻まれて白岳で撤退した苦い想いも有り、今年は何としてでもサミット制覇を懸けて山行に臨みました。
2 日間とも快晴で条件は最高だし、行けない理由は無い。
初日は朝 4 時に名古屋を出発して五竜遠見スキー場のゴンドラに乗り、一路西遠見山のテン場へ。気温が上昇してまるで初夏のようだ。汗だくになってテント場に到着。
さっそくテント場の整備にあたり、雪のブロックを作って雪の要塞を構築。雪のブロックは 100 個ぐらい切り出した。見事なブロック塀が完成してテントも設営完了。ビールで乾杯して胡麻坦々鍋で早い夕食を取り就寝。
1 日目　早朝 4 時起きで出発準備。風もなく絶景が待っていた。白岳の稜線手前までは雪庇の横を慎重に登り、白岳直下を雪崩のデブリを見ながら大きくトラバースした。

五竜山荘で小休止後、先導者が数名見える。トレースもバッチリ参考にさせて頂き、夏道沿いに登る。やはり北西側であるため雪が飛ばされて岩が露出する箇所多数。
30 分ほど登ったところで、引っ返してきた青年一人「夏道が分からなくなり、怖いトラバースが全面に立ち塞がり撤退してきました」やはりソロの登山者は怖いと撤退だね、という事で我々は何のこれしきと切り立ったルンゼトラバースにチャレンジして見事に渡り切って鎖場に到着。
このトラバースは、ピッケルをダガーポジションで足を蹴り込みながら蟹歩きで横切ったが、300mは切れ落ちたルンゼで結構怖い思いをしつつ、横切った。ここが積雪期の五竜の核心部であったと思う。その後は最後の雪壁の左側岩峰群を回り込んで行く。可成り切り立った雪壁をピッケルをダガーポジションで登ること 20m。半端な角度ではない。しっかり足を雪稜に蹴り込んで登る。風もなく穏やかな登攀であったため、結構余裕で登ることができた。
最後のビクトリーロードの先には五竜岳の標柱が！頂上アタック成功で暫くマッタリ。こんな晴天下の雪山登山はホントに素晴らしい。北西には劔岳の威容がズシリと重い。八峰・源次郎尾根が一望できる。来年こそはチャレンジしてみたいものだ。
下山の方が危険だねと言いながら快調に降り、あっという間にテント場到着。テント撤収して一路ゴンドラ乗り場へ。
後はお定まりのコースへ。薬師の湯でゆったりくつろぎ、帰名しました。(3028)